

(3) 子育て支援の充実

◆基本方針

就学前の保育・教育を一体と捉えた認定こども園の充実を図るほか、幼小中連携を進め、進学時のギャップの解消に努める。また、子育て世代に対する経済的な支援を行うとともに、子育て世代包括支援センターを設置し、子育ての情報提供、相談、指導などを行う。

◆施策の成果目標

指標名	R 元年実績	R7年目標
子育て世帯包括支援センター	—	1カ所
認定子ども園	1園	2園



(4) 保健対策の充実

◆基本方針

乳児期から高齢期までの各ライフステージにおいて、すべての人々が健康でいきいきと暮らせるように、町民一人ひとりが生活の質を高めることができ、みんなで取り組める健康づくりを目指す。

◆施策の成果目標

指標名	R 元年実績	R7年目標
がん検診受診率	36.0%	60.0%

(5) 社会保障の健全運営

◆基本方針

地域福祉の充実に係る施策の展開、保健対策の充実に係る施策の展開と相まって、認知症の予防、介護予防、健康診査受診率向上による病気の予防に努め、医療費の抑制を図る。また、医療費の適正化に努めるとともに、医療保険制度の周知をする。

◆施策の成果目標

指標名		R 元年実績	R7年目標
国民健康保険事業	一人当たり医療費(年間)	422千円	395千円
	特定健診受診率	45.9%	60.0%
後期高齢者医療事業	一人当たり医療費(年間)	583千円	577千円
	健診受診率	22.1%	30.0%

(6) 地域医療の確保

◆基本方針

医療需要の多様化、高度化に対応し、町民が身近で安心して医療を受けられるよう第一次医療圏としての医療体制の充実を促進する。また、より高度な医療需要に対応するため、第二次医療圏である能代市山本郡の医療体制と連携していく。

★町のホームページで「第2次八峰町総合振興計画 後期基本計画」を掲載しておりますので、右記 URL より閲覧することができます。 <http://www.town.happou.akita.jp/docs/2021033100015/>

第2次八峰町総合振興計画 後期基本計画目標

PART4

～安心して健やかに暮らせるやすらぎのまちづくり～



第2次八峰町総合振興計画は、平成28年度から令和7年度までの10年間の計画期間としており、このたび令和3年度からの後期基本計画を策定しました。

計画には、6つの基本目標が設定されており、これらを実現することで町の将来像「白神の自然と人とで創るやすらぎのまち」を目指します。ここでは前期基本計画の実績と比較しながら、後期基本計画の目標について、紹介していきます。今回は、「安心して健やかに暮らせるやすらぎのまちづくり」です。

6つの基本目標

- ①豊かな自然と共生するまちづくり
- ②快適で安全な暮らしを支えるまちづくり
- ③未来につながる活力ある産業づくり
- ④安心して健やかに暮らせるやすらぎのまちづくり
- ⑤彩り豊かな文化とふるさとをささえる人づくり
- ⑥町民とつくるパートナーシップのまちづくり

基本目標	施策
安心して健やかに暮らせるやすらぎのまちづくり	(1) 地域福祉の充実 (2) 出会い創出および結婚支援の充実 (3) 子育て支援の充実 (4) 保健対策の充実 (5) 社会保障の健全運営 (6) 地域医療の確保

(1) 地域福祉の充実

◆基本方針

町民一人ひとりが、生涯にわたって心身ともに健康で、年齢・性別・障がいの有無などにかかわらず個人として尊重され、誰もが自分らしく誇りをもって地域で生活できるよう地域住民同士や事業者、ボランティア団体、行政等が支え合う地域共生社会の実現に向けて取り組む。

◆施策の成果目標

指標名	R 元年実績	R7年目標
介護予防の推進	21.1%	23.4%
障がい者の地域生活へ移行	1人	2人
障がい者の一般就労への移行	1人	1人

(2) 出会い創出および結婚支援の充実

◆基本方針

あきた結婚支援センターや県結婚サポーターと連携し、男女の出会いの場づくりを積極的に進める。また、企業や近隣市町などと連携・協力を図りながら、職場や地域の枠を超えた出会いの場を創出するとともに、出会いから結婚までの各段階に応じたきめ細かな支援体制を整備する。



婚活イベントの様子▶

◆施策の成果目標

指標名	R 元年実績	R7年目標
出生数	26人	30人